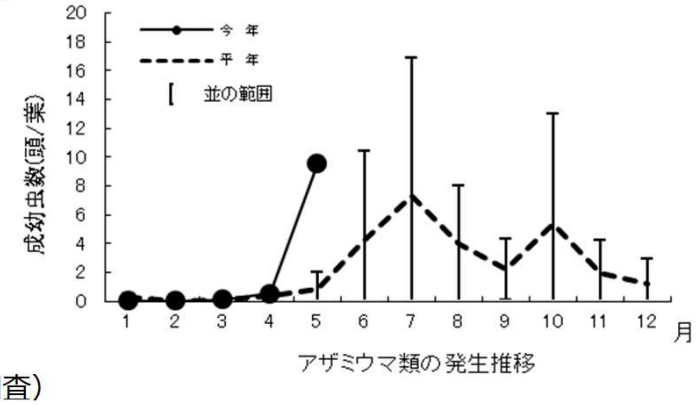
平成　31 年度　　6 月予報

作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ			
予報	6 月の発生量（平年比）	並～やや多		
	5 月からの増減傾向	↗		
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	やや多		
	その他 （気象要因など）	トラップ誘殺虫数が平年並 平年の発生量の推移（↗）		

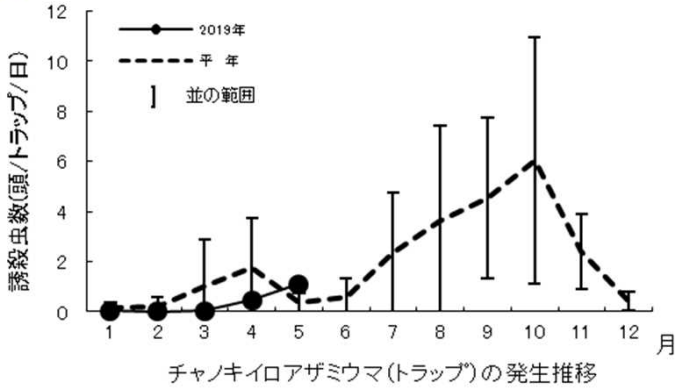
調査結果

（見取り調査）



アザミウマ類の発生推移

（トラップ調査）



チャノキイロアザミウマ(トラップ)の発生推移

防除のポイント

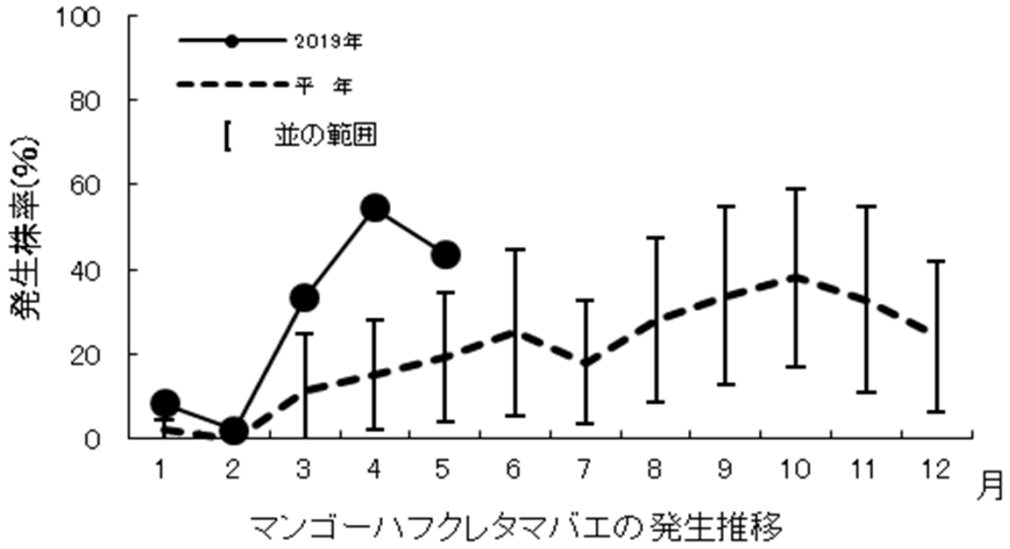
・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・多発施設では、収穫終了後に薬剤による防除を行う。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ナガエコミカンソウ

平成　31 年度　　6 月予報

作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ			
予報	6 月の発生量（平年比）	やや多		
	5 月からの増減傾向	↗		
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	やや多		
	その他 （気象要因など）	平年の発生量の推移（↗）		

調査結果



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

- 被害新梢率：15.6%
- 発生施設率：87.5%

防除のポイント

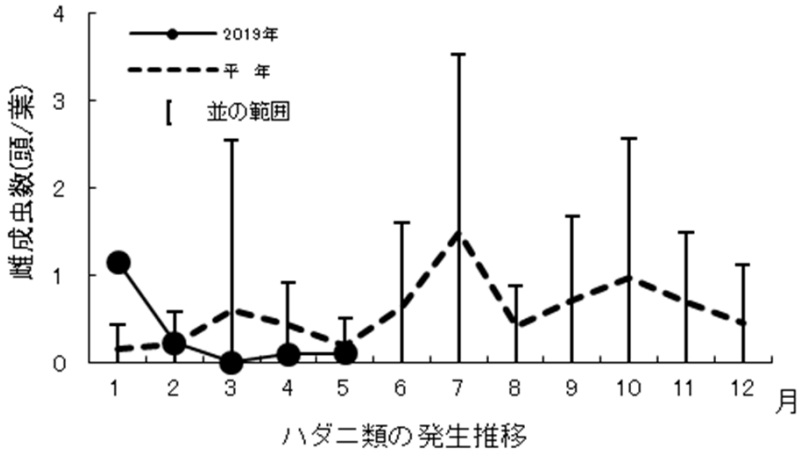
・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

・翌年の着果枝となる新梢が加害されると減収につながるため、多発施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。せん定枝は施設外に持ち出し処分する。

平成　31 年度　　6 月予報

作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハダニ類		シュレイツメハダニ	
予報	6 月の発生量（平年比）	並		
	5 月からの増減傾向	↗		
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	並		
	その他 （気象要因など）	平年の発生量の推移（↗）		

調査結果



ハダニ類の発生推移

- 発生種：シュレイツメハダニ、マンゴーツメハダニ
- 発生施設率：62.5%（平年30.0%）
- 新梢での寄生雌成虫数：0.1頭以下（発生種：シュレイツメハダニ）

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症